

韓国の結婚式、日本と違うところは？

国際交流員 キム ア ヨン 金雅英

皆さん、こんにちは！5月は天気がよく、韓国では「5月の花嫁さん」という表現もあるほど結婚式を挙げるカップルが多いと言われています。

韓国ではホテルや結婚式場、教会、屋外などの場所で結婚式を挙げます。しかし、日本の挙式とはだいぶ違います。挙式の際に友人が新郎新婦へお祝いの歌を贈ったり、新婦を背中に乗せたまま新郎に腕立て伏せをさせるというちょっとした体力テストをしたり、新郎新婦がご両親に書いた手紙を読み上げたり、指輪交換や記念撮影もします。つまり、日本の披露宴である余興が挙式の際に一緒に行われるのです。

そのため、韓国では披露宴ではなく、ほとんどが「挙式」に参加します。新郎新婦の親族はもちろん、友人や職場の人、恩師などさまざまな人に招待状を送ります。そうすると、基本的に100人から、多い場合は250人以上集まる場合もあるそうです。

しかし最近では、たった1日だけの結婚式にお金をかけるより、新郎新婦が2人の時間に使うために、式費用を節約する「スモールウェディング」を挙げる人も増えてきており、100人未満の人数で結婚式を挙げるカップルも少なくないと言います。

また、結婚式自体を新郎新婦の手で準備する「セルフウェディング」も流行っています。結婚式会場を探すことから、お手頃な値段の衣装や小道具をインターネットで揃えたり、事前撮影の場所を決めて知り合いに撮ってもらったりするなど、ウェディングプランナーがすることを自らで準備するのです。また、韓国の挙式と日本や欧米のような披露宴を合わせるといったアレンジを加えることで、今までにない斬新な結婚式を行うカップルも増えているようです。

今回は、結婚式を準備する側の話を皆さんにご紹介しました。次回は、招待される側のお話をご紹介します。お楽しみに！

※あくまでも韓国の定番の結婚式について紹介したものです。

人権標語

勇気持ち
「仲間に入れて」
「うんいよ」

国分小学校4年 ぬま みずき 沼 瑞希さん



あかまつ かよ 赤松 佳代 (連歌屋区) 小原 流

花材 藤、あざみ、てんもんどう 天門冬

季節の生け花

大宰府市華道連盟

つれづれ

太宰府短歌会

羽根ぶとんにぬくぬくいねをる
目交を裸の小鳥がまた過ぎゆく
湯の谷西 正木 ミツエ

春の午後声弾ませてかくれんぼ
少しの隙間にも子らはひそめる
東ヶ丘 西木 ミヤ子
気づかひに頭が下がる退院後の
夕餉に熱燗の 一合の酒
三条台 木下 利孝

天神町の窓辺でコーヒー飲んで見よ
そぼ降る雨の日は好きになる
福岡市 竹森 祐彦

かりそめにまなこつむりて踏みてゆく
冬の雨降る点字ブロックを
湯の谷 山崎 八重子

太宰府俳句会

持永 真理子 選
たんぽぽの野へ投げ返す子のボール
星ヶ丘 柴田 慧美子

都府楼を淡く染め上げ夕桜
馬場 有岡 和砂

たんぽぽの土手に繋がる渡船あと
水城台 榎原 瞳

道の辺のたんぽぽ追はばきりもなし

大の字の男にやさしたんぽぽ黄
筑紫野市 幸田 はるみ

飛梅句会

介弘 紀子 選
父母の在さぬ故郷彼岸寒

土筆摘む先へ先へと眼の走り
大佐野台 金丸 恵子

お彼岸や過ぎ去りし日々たぐり寄せ
高雄台 川路 泰子

一輛電車ゆつくり過ぎる土筆の野
長浦台 徳賀 美智子

土筆摘む筆の形でありにけり
馬場 野上 コト子

宝満句会

菅井 久美子 選
畑狭く苗札ばかり目立ちをり
筑紫野市 羽野 喜久代

春雷に犬のちよい鳴き夜の静寂
青葉台 平野 香

春雷や風の纏はる帰路となる
青葉台 本山 晴子

苗札も濡れて恵みの雨となり
福岡市 工藤 友子

春の雷閲覧室の静寂かな
高雄台 荒島 由美子

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選
埋み火のごとき夜景よ水の星
福岡市 富津 英里子

洒落気なくひたすら睡る母の春
筑紫野市 高田 幸子

いさかいの果ての夜の闇沈丁花
湯の谷西 矢野 杏子

雛飾るその手商ふ魚貝類
青葉台 彦坂 正孚

梅白く父母此処に眠りけり
福岡市 塩飽 たか子

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選
息切れはまだ見せられぬ竹刀振る
観世音寺 松浦 ちえ

鄙の里手漉きの和紙の村おこし
大佐野 小鹿野 桂

教え子の便り無聊を慰める
吉松 鈴木 弘市

何時の日か日本を担う子の寝顔
都府楼南 杉 良子

マンネリを物ともせず句を作る
筑紫野市 東昭秀